

2020年5月20日

各位

ケニア JICA 海外協力隊有志で組織する奨学金給付団体
(略称: KESTES)

KESTES 活動資金の盗難についての報告

2020年3月16日に発覚したケニア国内隊員連絡所での KESTES 活動資金盗難被害についてご報告申し上げます。今回、ケニア国内隊員連絡所で保管していた KESTES の活動資金 224,000 ケニアシリングが盗難被害に遭いました。盗難経緯及び盗難防止対策をご報告致します。

1. 発生日時

2020年1月24日午後7時～2020年3月16日午後6時頃の間発生(ケニア標準時)

2. 場所

ケニア国内隊員連絡所(男子ドミトリー)の KESTES 用ロッカー

3. 被害額

現金 224,000 ケニアシリング(日本円で約 224,000 円)

4. 発覚経緯

2020年3月16日午後6時頃、新型コロナウイルスによるケニア JICA 海外協力隊員の緊急一時帰国に伴い、KESTES 活動資金の収支を把握するため、会計班三名(前会計班班長、現会計班班長、銀行口座担当者)で会計監査を行っていた。金庫内に保管していた現金を確認したところ、224,000 ケニアシリングの不足が発覚した。

出納帳の記入漏れや誤算を確認するため、即時に出納帳と精算書類を照合したが、出納帳は正しく記載しており、上記金額の不足を再確認した。全会計班員に状況を報告し、前回の会計監査日(2019年12月6日)から事件発覚日(2020年3月16日)までに実施された会計作業の状況を確認した。事実確認の結果、2020年1月24日午後7時に会計作業を実施してから、2020年3月16日午後6時まで金庫の出入金はなく、この期間に盗難が発生したことが判明した。

5. 盗難された資金のドミトリー内での保管経緯

- 盗難が発生した期間にグッズ製作を予定していたため、そのための費用を銀行より引き出していた。
- 隊員の引継ぎと銀行口座の手数料の増額により口座の変更を検討していた。
※KESTES では、任意団体のため団体名での銀行口座を開設することができなくなり、2009年以降、会計班長名の銀行口座を利用していた。

6. 盗難発生後の対応

- JICA ボランティア調整員に事件発覚の翌日(2020年3月17日)に報告し、調整員を介して JICA の安全対策アドバイザーに報告する。アドバイザーが隊員ドミトリーを訪問し、会長や会計班が状況説明を行う。盗難の事実をケニア警察へ通報する。2020年3月27日、ケニア警察からポリスレポートが発行される。
- 盗難に対して JICA ケニア事務所所長より隊員へ注意喚起のレターが2020年3月20日に発行される。
- 一連の盗難事件の事実関係を確認し、今回の盗難事件の発生原因を分析し、再発防止策を講じるため、役員会及び班別会議にて緊急会議を実施する。
- 会計班全員への聞き取り調査及び会計班員個人のケニア銀行口座の明細(2020年1月～3月分)の調査を実施する。
- KESTES ケニア全会員へ聞き取り調査する。

※2020年5月20日現在、犯人は捕まっておらず、犯人を特定するための手がかり等も得られていない。

7. 盗難発生要因と再発防止策

盗難発生要因	再発防止策
1. 様々な事情があったものの、多額の現金をドミトリーで保管していた	1. チェックブック（小切手）やモバイル送金システム等の利用により極力現金を使用しない精算方法に切り替える。
2. 盗難のリスクを考慮した場合、現金の保管方法が不十分であった。	2. 現金の保管方法を変更する（JICA ケニア事務所等とも協議中）。
3. 精算を行う時期・周辺環境が適切でなかった（KESTES 運営メンバー以外から見られる環境で精算作業を行っていたなど）。	3. 精算フローを変更し、セキュリティを確保した上で精算が行えるようにする。
4. 会計業務の見直しを行うことができておらず、実態に沿わない部分があった。	4. 会計業務を定期的に見直す。

8. 盗難された資金の補填

皆様からお預かりしたお金は、本来、現在および未来の奨学生のために使われるべきお金であり、1円たりとも失ってはいけないお金でした。このことも鑑み、盗難にあったお金の全額を KESTES の運営関係者で補填することといたしました。

以上